

講義科目名称： 看護倫理

授業コード： 2230500300

英文科目名称： Nursing Ethics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員			
◎大久保明子、高柳智子、岡村典子、小長谷百絵、谷本千恵、小林綾子、八巻ちひろ			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <table border="0"> <tr> <td>【氏名】</td> <td>【研究室】</td> <td>【メールアドレス】</td> </tr> <tr> <td>◎大久保明子</td> <td>207</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高柳智子</td> <td>203</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岡村典子</td> <td>216</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小長谷百絵</td> <td>213</td> <td></td> </tr> <tr> <td>谷本千恵</td> <td>312</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小林綾子</td> <td>205</td> <td></td> </tr> <tr> <td>八巻ちひろ</td> <td>309</td> <td></td> </tr> </table> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程・保健師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎ ○</p>	【氏名】	【研究室】	【メールアドレス】	◎大久保明子	207		高柳智子	203		岡村典子	216		小長谷百絵	213		谷本千恵	312		小林綾子	205		八巻ちひろ	309	
【氏名】	【研究室】	【メールアドレス】																							
◎大久保明子	207																								
高柳智子	203																								
岡村典子	216																								
小長谷百絵	213																								
谷本千恵	312																								
小林綾子	205																								
八巻ちひろ	309																								

到達目標	<p>1. 看護倫理の歴史と倫理原則について理解できる。</p> <p>2. 看護専門職として、看護倫理の意義と重要性について理解できる。</p> <p>3. 看護倫理に関連する重要概念が理解できる。</p> <p>4. さまざまな看護活動における特徴的な倫理的課題について理解し、専門職としての自己のあり方について思考できる。</p>
------	--

授業概要	看護専門職として必要な看護倫理に関する基礎知識と看護者の倫理的行動につながる諸概念について学ぶ。また、さまざまな看護活動における代表的な倫理的課題について考察する。
------	--

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義 学習課題：看護倫理の基本① 学習内容：倫理学の基本的な考え方、生命倫理、看護倫理の歴史と倫理原則 備考：大久保</p> <p>2 授業内容 授業形態：講義 学習課題：看護倫理の基本② 学習内容：看護専門職と倫理、看護者の倫理綱領（日本看護協会） 備考：高柳</p> <p>3 授業内容 授業形態：講義 学習課題：看護倫理と重要概念 学習内容：アンボカシー、個人情報保護、インフォームドコンセント、個人の権利、守秘義務等 備考：岡村</p> <p>4 授業内容 授業形態：講義 学習課題：さまざまな看護活動と倫理1 学習内容：生殖にまつわる看護倫理 備考：八巻</p> <p>5 授業内容 授業形態：講義 学習課題：さまざまな看護活動と倫理2 学習内容：人生の晩年期を生きる人への看護倫理 備考：小長谷</p> <p>6 授業内容 授業形態：講義 学習課題：さまざまな看護活動と倫理3 学習内容：病と闘う人への看護倫理 備考：小林（綾）</p>
------	---

	7 授業内容 授業形態：講義 学習課題：さまざまな看護活動と倫理4 学習内容：強制や制限のある人への看護倫理 備考：谷本
	8 授業内容 授業形態：講義 学習課題：さまざまな看護活動と倫理5 学習内容：子どもと家族への看護倫理 備考：大久保
事前・事後学習	事前学習：ニュースや新聞等の医療に関する内容を探し、倫理的視点で見る/読む。 事後学習：講義内容を自分の言葉で整理し、自己の考えをまとめる。
評価方法、評価基準	課題レポート、もしくは筆記試験で評価する(100%)。 単元ごとの評価は各担当教員が行い、科目責任者が総合評価を行う。 具体的な評価方法については、講義時に各担当教員が提示する。
必携図書	宮坂道夫他：看護倫理（系統看護学講座 別巻）医学書院
参考図書・資料等	資料等は、必要時配布する。
受講、課題、資料配布等のルール	20分以上の遅刻は欠席となる。2/3以上（6コマ以上）の出席がない場合は、評価の対象としない。
教員からのメッセージ	倫理は看護実践の中心にあるべきもので、自律した専門職になるためには欠かせないものです。様々な場面における倫理的課題について感受性を高め、自己の看護観形成に努めてください。
オフィスアワー	